

ロボコン2025全国大会＜各賞＞

ロボコン大賞	熊本高専(熊本)
優勝	旭川高専
準優勝	熊本高専(熊本)
アイデア賞	明石高専
技術賞	奈良高専
デザイン賞	国際高専
アイデア倒れ賞	鈴鹿高専
特別賞	富山高専(本郷)、米子高専、鹿児島高専、 熊本高専(八代)、一関高専、東京高専、 神戸市立高専、小山高専



旭川高専「天旋」と熊本高専「強奪名星」(熊本キャンパス)の決勝戦

ロボットでゲート制作、人とともに通過！
高専ロボコン全国大会 優勝は旭川高専「天旋」
 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025全国大会（高専ロボコン）が11月16日、東京都墨田区の両国技館で開催され、旭川高専が優勝した。
 同大会は、全国の高専学生が、毎年異なる競技課題に対し、アイデアを駆使してロボットを製作し、競技を通じてその成果を競うもの。今年の競技課題名は「Great High Gate」。全国8地区の地区大会で選抜された25チームが、ロボットで、大きさや形の異なるボックスを積み上げてゲートを制作、人が乗った台車と連結し、そのゲートを一緒に通過する競技に挑戦した。



優勝した旭川高専チーム「天旋」

同競技では、積み上げたゲートをロボットが、人の乗った台車と連結し通過することで、ゲートの高さ1cmにつき1点のゲート得点が得られる。繰り返し周回することで2回目通過以降は5点ずつ加算される。なお、競技時間中に、崩れる等でゲートとしての条件を満たさなくなった場合、ゲート得点のみ0点にリセットされる。
 昨年同様、今大会はトーナメント形式（対戦形式）で実施。決勝戦では、ゲート完成後、片方の柱を中心に高速で旋回しながら周回し続け、安定感のある勝利を続けてきた旭川高専「天旋」と、熊本高専「強奪名星」（ロボスター）（熊本キャンパス）が対戦し、「より多く回るか、より高く積みむか」の戦いとなった。熊本高専は今大会最高の420cmのゲートを積み上げ、見事通過したものの、旭川高専は50回超のゲート周回で、熊本高専の得点を上回り、見事優勝となった。
 閉会式・表彰式では、松本洋平文部科学大臣が挨拶し「生で観て、高専生の持つアイデア、技術力、そしてチームワークに大変感動した。高専におけるものづくり教育のレベルの高さやチャレンジ精神を改めて感じた。全国の高専でこれからの社会を牽引する創造力ある技術者が確実に育っていることを頼もしく感じている」と語った。唯一無二のアイデアを実現し、見る者に深い感動を与えたチームに与えられる「ロボコン大賞」は、準優勝の熊本高専（熊本キャンパス）に贈られた。高専ロボコン全国大会の模様は、12月14日午後2時からNHK総合で放送される。

閉会式・表彰式では、松本洋平文部科学大臣が挨拶し「生で観て、高専生の持つアイデア、技術力、そしてチームワークに大変感動した。高専におけるものづくり教育のレベルの高さやチャレンジ精神を改めて感じた。全国の高専でこれからの社会を牽引する創造力ある技術者が確実に育っていることを頼もしく感じている」と語った。唯一無二のアイデアを実現し、見る者に深い感動を与えたチームに与えられる「ロボコン大賞」は、準優勝の熊本高専（熊本キャンパス）に贈られた。高専ロボコン全国大会の模様は、12月14日午後2時からNHK総合で放送される。